

FM.クマガヤ株式会社 第3回番組審議会議事録

1 開催年月日 令和元年10月31日(木)12時00分～13時00分

2 開催場所 和とう 肥塚店

3 委員出席

委員総数 5名

出席委員数 5名

出席委員 長谷川 隆一

小林 義治

山下 祐樹

廣瀬 俊明

内田 百合子

放送事業者側出席者 宇野 元英

高井 昭博

4 議題

(1) 審議番組の放送内容について

(2) 次回の開催日程

(3) その他

5 議事の概要

放送及び、局全般についての意見を求めた。

6 審議内容

(1) 審議番組の放送内容について

審議番組

番組名 「よるクマ」

放送日 9月11日(水)19時00分～19時54分

担当パーソナリティ 野原のぼ、石川良太

- (委員) 熊谷市だけでなく行田市もエリアとしている FM クマガヤなので、行田市の情報に特化している番組が用意されているのはとても良い。
- (委員) パーソナリティが行田の情報にとっても明るいがどのような人物なのか。
- (事業者) 野原は、行田市の観光 PR 隊として 9 年活動している。また、石川も同じ観光 PR 隊として活動していた時期があり、2 人とも行田にゆかりがある。
- (委員) 全体的にゆるい感じが時間帯に合っていてよいのではないか。
- (事業者) 夜帯の番組なので、少しディープな情報も加えている。16 時台にも行田市の情報に特化した番組を放送しているので、この時間はパーソナリティのかけ合いや内容で差をつけている。
- (委員) イベントだけでなく行田市内のお店の情報まで細かく伝えていた。
- (委員) 閉店するお店を紹介して残念がるところは、コミュニティ FM らしさがあった。
- (委員) 情報収集はどのように行っているのか。
- (事業者) 観光 PR 隊の活動で得た情報だけでなく、放送前に行田市内を回っている。地域の細かな情報を自ら調べている。
- (委員) 今回の台風 19 号について行田市との連携はどうだったのか
- (事業者) 行田市の担当課と連絡を取り合い避難所や停電の情報等を放送した。11 月には「防犯・防災情報の緊急放送に関する協定」を締結する。
- (委員) 台風の際に FM クマガヤを聴いていたが、ラジオの価値、コミュニティ FM の価値というものを感じた。
- (委員) 台風での放送についてリスナーからの反応はどのようなものがあったか。
- (事業者) 熊谷市、行田市と避難所の場所や定員情報等を発信していたことで、放送を聴いて避難をしたというお便りも届いた。  
ラジオから流れる地名は地元のものだけということが安心感につながったと考えられる。
- (委員) 地域に根差したコミュニティ FM としての役割を今後も果たしてほしい。

## (2) 次回の開催日程

1 月下旬を予定。

## (3) その他

各委員にその他意見を求めたが、他になかったので 13 時 00 分に閉会した。

- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日  
審議番組の制作会議を実施し、番組構成の協議を行った。(令和元年 11 月 6 日)
- 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表  
公表の方法  
①自社放送  
②自社ホームページ(<http://fmkumagaya.com>)への掲載  
③事務所への据え置き  
公表の内容  
審議内容の要約
- 9 その他参考事項  
特になし。